

入曽地区の小学校の統廃合について

1 児童数及び学級数の今後の見通し

入曽地区の小学校の児童数・学級数推計表

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
入間小学校	309 (10) 12 (2)	297 (10) 12 (2)	278 (10) 11 (2)	275 (10) 11 (2)	263 (10) 11 (2)	269 (10) 11 (2)	272 (10) 11 (2)
南小学校	496 (5) 16 (1)	495 (5) 16 (1)	490 (5) 16 (1)	488 (5) 15 (1)	466 (5) 15 (1)	459 (5) 15 (1)	423 (5) 13 (1)
山王小学校	514 17	496 17	480 16	463 14	465 14	442 14	428 13
入間野小学校	327 11	332 11	312 11	322 12	328 12	302 12	294 12
御狩場小学校	308 12	291 12	303 12	287 12	293 12	266 11	270 11
合 計	1954 (15) 68 (3)	1911 (15) 68 (3)	1863 (15) 66 (3)	1835 (15) 64 (3)	1815 (15) 64 (3)	1738 (15) 63 (3)	1687 (15) 60 (3)

統 合 後	南小学校	—	—	612 (15) 19 (3)	613 (15) 19 (3)	582 (15) 18 (3)	573 (15) 18 (3)	538 (15) 18 (3)
	入間野小学校	—	—	468 15	472 16	475 16	457 16	451 16

(注1) 上段は児童数、下段は学級数で、()内は特別支援学級で外数である。

(注2) 1・2年生は1学級35人、3～6年生は1学級40人で学級数を算出している。

(注3) この推計表は、平成21年5月1日現在の年齢別人口を基に児童数・学級数を推計し、翌年度以降、年齢を1歳ずつ進行させて作成させたものであり、社会増減等の要因は加味していない。

(注4) 平成21年度は実績である。

入間野小学校では、すでに単学級（1学年1学級）の学年が生じており、入間小学校では平成23年度から、御狩場小学校では平成26年度から、単学級の学年が生じることが予想されています。

2 統廃合の内容

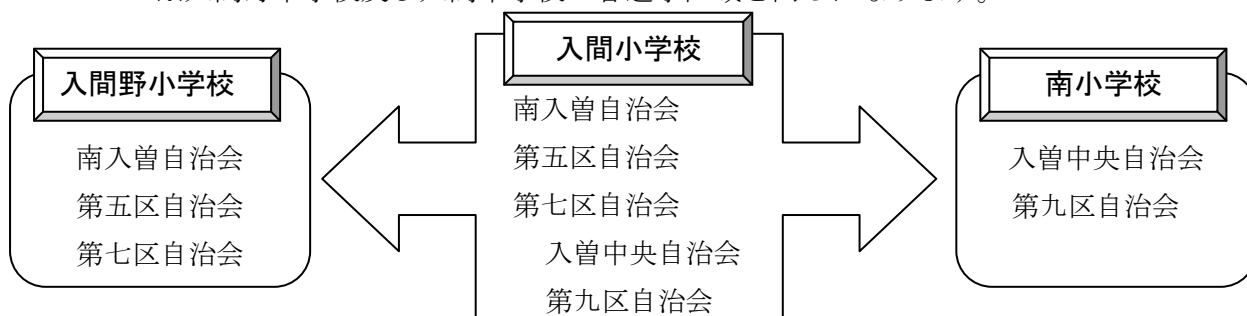
(1) 統廃合の方法

児童数の減少、学校施設の老朽化及び入曽駅東口地区のまちづくりの視点から、入間小学校を廃止の対象とし、平成23年4月に入間野小学校及び南小学校に編入統合します。（入間野小学校及び南小学校の学校名は、そのまま継続します。）

(2) 通学区域の見直し

統廃合に伴う入間小学校の通学区域の見直しについては、以下のとおり、各自治会区域を入間野小学校及び南小学校の各通学区域に編入します。

※入間野中学校及び入間中学校の各通学区域と同じになります。



入曽地区の小学校の統廃合について

統合校の学年ごとの児童数・学級数（平成23年度推計）

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援	計
南小学校	児童数	99	97	107	94	124	91	15	627
	学級数	3	3	3	3	4	3	3	22
入間野小学校	児童数	61	64	83	93	90	77	/	468
	学級数	2	2	3	3	3	2	/	15

※1・2年生は1学級35人、3～6年生は1学級40人で学級数を算出している。

（3）統合先小学校の環境整備

①学校施設整備

統合に向けて、南小学校及び入間野小学校の施設改修等の工事を行い、さらなる教育環境の整備を図ります。

学校統廃合事業における主な施設整備計画

	南小学校		入間野小学校
	平成21年度	平成22年度	平成22年度
廊下の塗装		○	○
教室の照明設備の改修	●		○
教室にインターフォンを設置	●		○
教室内にコンセントを増設	●		
電気容量の増設	●		
階段の下り側にも手すりを設置	●		○
プールの塗装	○		○
プールのろ過機の改修	○		○
プールの更衣室の改修	○		○

- 1) 耐震補強工事…入間野小学校は平成19年度、南小学校は平成20年度に実施済み。
- 2) 冷暖房工事…入間野小学校は平成20年度、南小学校は平成21年度に実施済み。
- 3) トイレ改修工事…入間野小学校は平成23年度、南小学校は平成24年度に実施予定。
- 4) ●は工事実施済み、○は工事実施予定。

②特別支援学級

平成23年3月の入間小学校「風の子学級（知的障害、自閉・情緒障害）」の廃止に伴い、南小学校「わかば学級」は、既設の自閉・情緒障害学級に加えて、

入曽地区の小学校の統廃合について

知的障害学級も併せて設置する予定です。さらに、近隣の小学校にも新たに特別支援学級を設置する予定です。

なお、入間野小学校は、施設規模の観点から、統合後も特別支援学級を設置する予定はありません。

③学校運営

- ・ 児童の指導に遺漏のないように、統合当初3年間は、市採用の非常勤講師を増員する予定です。(統合初年度は3人の採用を予定しています。)
- ・ 入間小学校から各校に編入する児童の名札及び学年帽(水泳帽含む)は、市から支給する予定です。また、体育着及び上履きは、買い替えの時まで入間小の規格のものを使用していただきます。(買い替えの際に、入間野小又は南小の規格のものを購入していただきます。)

(4) 学童保育室

- ・ 入間野小学校の児童が利用している学童保育室は、学校の敷地内に設置されていますが、統廃合を機に同敷地内に更に1か所増設する予定です。
- ・ 南小学校の児童が利用している学童保育室は、現在は第四児童館内に設置されていますが、統廃合を機に南小の校舎内に移転するとともに、入間小学校からの児童も受け入れられるよう拡充を図る予定です。
- ・ 入間小学校の児童が利用している学童保育室(入間学童保育室「南入曽427-1」)は、統廃合を機に廃止する予定です。

(5) 事前交流

統合後の小学校生活に対する不安を解消し、統合当初から学校運営を円滑に進めるために、学校相互の事前交流を計画しています。

事前交流の具体的な内容については、学校だより等で随時お知らせします。

(6) 通学路の安全対策

統廃合に伴う入間小学校の通学区域の見直しに伴い、狭山警察署に対しては横断歩道や信号機、埼玉県(川越県土整備事務所)に対してはガードレール等の設置について、要望書を提出しています。

また、市としても、グリーンベルトの設置や路面標示(「学童注意」「通学路」等)などのハード面の整備を、統合までに実施する予定です。統合後は、踏切など特に危険と思われる箇所には安全誘導員を配置し、通学路の安全対策の充実を図ります。

3 入曽地区のまちづくりと入間小学校の閉校について

入間小学校を廃校の対象とした経緯については、児童数の減少、学校施設の老朽化及び入曽駅東口地区のまちづくりの視点を総合的に勘案した結果によるものです。

教育委員会として学校の統廃合を進める目的は、学校の規模と配置の適正化であり、そのうえで入間小学校の施設の老朽化及び耐震基準を満たしていない*といった喫緊の

入曽地区の小学校の統廃合について

課題を抱えている現状も踏まえ、統廃合は予定どおり平成23年4月に実施します。

なお、駅前開発のスケジュールについては、都市計画決定の時期が当初より遅れていますが、平成21年度の都市計画決定に向けて、11月17日に公聴会の開催を予定しており、関係部署において現在手続きを進めています。

また、狭山市教育委員会が策定した「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」において、入曽地区内で廃止の検討が必要な学校数は、小学校2校及び中学校1校としていますが、次の統廃合については、児童生徒数の動向等を踏まえ、今後検討していきます。

長きにわたる歴史と伝統を誇る入間小学校のシンボルであるケヤキの木や百周年記念碑などの取扱いについては、新たな廃校記念碑の設置とともに、関係者から意見を聴きながら今後検討していく予定です。

※耐震診断の結果、入間小学校のIs値（構造耐震指標）は0.28であることが判明したため、0.3以上を確保するための改善工事を実施しました。

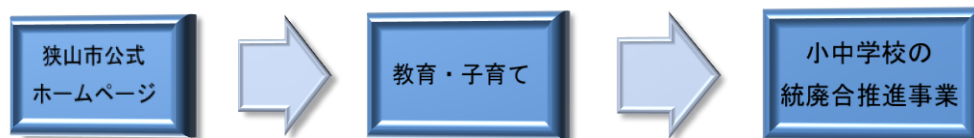
4 今後について

児童の保護者の代表、自治会長、小学校長等で組織された入曽地区学校統廃合検討協議会では、平成19年4月から二年半にわたり、統廃合に関する数多くの検討協議を重ねてきました。

今後は、今回の説明会を踏まえたうえで、当協議会において、統廃合に関する具体的な内容についての合意を図り、これらを「入曽地区の小学校の統廃合に関する計画（提言書）」としてとりまとめ、狭山市教育委員会へ提出することとしています。

狭山市教育委員会では、当協議会の提言を受け、市としての統廃合計画を策定し、教育委員会会議の議決や全庁的な合意を踏まえた後、入間小学校の廃止に関する「狭山市立学校設置条例」の一部改正を行う予定です。

「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」及び入曽地区学校統廃合検討協議会の検討経過については、市の公式ホームページをご覧ください。



問い合わせ

狭山市教育委員会 教育総務課 学校統廃合担当
電話2953-1111 内線5639